

九州・西日本支部研究会／第1回材料研究会のご案内

2014年度の九州・西日本支部研究会／第1回材料研究会を下記のように開催いたします。今回は、HTSを用いたMRIや加速器等直流マグネットで問題となっている1)線材・導体で誘起される遮蔽電流、2)遮蔽電流が作る単位体積当たりの磁気モーメントとして定義される磁化、3)磁化の一周期積分として定義される交流損失、4)磁化・交流損失の低減方法等々について平易に解説して戴き、また次期定常強磁場施設計画についても最新の情報をご講演戴きます。奮ってご参加下さい。

テーマ：超電導線材・導体の磁化・交流損失

日時：2014年7月25日（金）13：20～17：30

場所：電気ビル本館 地下2階6号会議室

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通2丁目1番82号

電気ビルへのアクセスは（位置情報のみ）こちらをご参照下さい。

http://www.kyumen.co.jp/rental/denki_access.html

（福岡市営地下鉄 空港線 天神駅下車。徒歩15-20分、もしくは、

西鉄バスで、天神コア→渡辺通一丁目電気ビル共創館前（4-5分）下車すぐ。）

参加費（資料代）：2000円（どなたでも自由に参加できます）

プログラム

- | | | |
|---------------|--|-----------------|
| 13:20 ～ 13:25 | 開会の辞（材料研究会委員長） | 前田敏彦（高知工科大学） |
| 13:25 ～ 13:30 | 主催者挨拶（九州・西日本支部副支部長） | 迫田浩一（九州電力総合研究所） |
| 13:30 ～ 14:20 | 超電導体の電磁現象基礎 | 松下照男（九州工業大学） |
| 14:20 ～ 15:10 | 超電導線材・導体の構成法と交流損失
－ LTS と HTS の相違 － | 岩熊成卓（九州大学） |
| | 休憩（20分） | |
| 15:30 ～ 16:00 | RE系超電導線材の低交流損失化加工 | 町 敬人（超電導工学研究所） |
| 16:00 ～ 16:30 | ポインティングベクトル法による交流損失測定 | 川越明史（鹿児島大学） |
| | 休憩（10分） | |
| 16:40 ～ 17:20 | 次期定常強磁場施設計画の進捗 | 淡路 智（東北大学） |
| 17:20 ～ 17:30 | 閉会の辞（九州・西日本支部長） | 円福敬二（九州大学） |
| 18:00 ～ 20:00 | 懇親会 | |

オーガナイザー：岩熊成卓（九州大学）、川越明史（鹿児島大学）

問合せ先：川越 明史 (Akifumi KAWAGOE)

〒890-0065 鹿児島市郡元1-21-40

鹿児島大学大学院 理工学研究科 電気電子工学専攻

Tel : 099-285-8403 Fax : 099-285-8413

E-mail : kawagoe@eee.kagoshima-u.ac.jp